

MMQC ニュース

Vol.119
令和元年11月1日(金)
発行:(有)エー・エム・アイ

来年の計画を考えていますか？

今年もあと2ヶ月になりました。私は、若い時から、この1年を回顧しながら、積み残した事を棚卸して新規課題を洗い出す事をこの時期にやっています。計画通り行かないから人生は面白いと思います。そんな気持ちで70才になっても挑戦中。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「求めない」と「利他の精神」⇒「おもしろい」

右掲は、英文学者であった故加島 祥造さんの「求めない」という詩集です。いろんなトラブルは相手に期待して、その実現を望むことから起こると言えますが、逆に、期待をかけず「求めない」という心境ならばノン・トラブルで過ごせる可能性が高まるのです。少なくとも自分から期待しないので平穏でおれるという心境です。この詩集のタイトルを見てパッとそういう事を思い浮かべた事を思い出します。



人の心理は不思議で「求めると相手が嫌がって逃げる」という現象が起こりやすいのです。心理作戦が上手な方は、この心理を知っているのでズバリではなく、徐々にあの手この手でアプローチをして相手の関心を引く努力をされるのです。本心を押し隠して「求める」温度を下げて近づくのです。この事は、ビジネスの世界でも重要な事なのです。「利他の精神」と言っても、押し付けるような行為は響きを買わないので、さればなく利他の施しが重要になります。

中小企業家同友会の大国フーズの津田会長は「仕入る」からワンランク・アップされて「作る農業」を目指されて「土壌」を改良する有機農法で根を張る事から生まれる素晴らしい野菜づくりで一流ホテルやレストランなどで高価格でも高い付加価値が認められており、その自信からいろんな野菜にチャレンジされています。その姿は、66才とは見えない子供のようなキラキラと目を輝かせておられます。本当に素晴らしいと感銘を受け、若い会員の間でも津田さんの話を聞くだけでパワーがもらえると評判になっています。有機農法に注がれる情熱がピュアなので感銘するのです。これも一つの「求めない」姿だと思います。

「好きな事」=「仕事」

このように素晴らしい津田さんも若い時はいろいろとご苦労なさったとの事です。特に、人という点では何人も雇っては辞めて行く状況だったそうです。ご自身がひたすらお客様を開拓されていたが、気が付くと「あのお客様は？」と気づくと何ヶ月も注文が来ておらないという事が判明する訳です。慌ててお客様に会ってお詫びをいれると「注文した野菜が全部納品されず、何か抜けて商売にならないのだ」と衝撃的な事実が跳ね返って来るのです。つまり、「仕入れて売る」だけでは社員の誇りが無いと気づかれた訳で、非価格競争の世界は「よい物売る事だ」と自ら生産する方向を切り拓かれたのです。素人が有機農法に参入したので失敗の繰り返しながら、独自の土壌改良法を見出しておいしい野菜を生産するようになり、一流シェフたちが「高くても安定供給」を望むブランド化を実現されたのです。この話をされる時は、本当に有機農法が好き事が伺える話ぶりになり、聞く方も引き込まれます。まさに、「好きな事」=「仕事」にされており、金は後からついてきた感じなのです。

ワンポイント・アドバイス

人は幾つになっても目を輝かせる事が出来るのだと実感しています。津田さんのようにピュアな精神でいれば、新しい事を楽しむ心境になれるのだと実感しました。ホンマに「楽しくなければ人生ではない」という事に気づき周囲を「楽しく」させる存在になりたいと再確認しました。「楽しいか？」とこれから自問自答する習慣を身に付けたいと思います。ホンマ、おもしろいか？と自問したいです。



私は、津田さんより4才上の70才ですが、彼が「これから社業は後進に譲って、自分は有機農法をやる」とおっしゃれたのに大いに刺激を受けています。常々、「百歳現役」と言いながら、実は、内心では隠居気分が漂っているのです。彼が「10年ビジョン」と言っていました、私も自分だけの「10年ビジョン」を描きたいと思い実行中です。「でも」という言葉は禁句ですが、やはり事実として10年後には80才になっているのです。今の生活をPDCAするだけでも大変ですが、OODA的に変化に敏感になって新しい事にチャレンジして行きたいと思っています。今のところ、その新しい事が見当たらないですが、必ず、年相応の事が現れて情熱を再び燃やせる時が来ると確信しています。それまで、健康に留意して、動けるために蓄財もして「ポケット・マネー」でさっと動けるように準備したいと思っています。